

イベント・催し物主催者セルフチェックシート(10月1日～)

イベント・催し物の開催にあたっては、適切な感染防止策の徹底とその取り組みを公表いただくことにより収容人数の制限を緩和します。申込時に、この「イベント・催し物主催者セルフチェックシート」をご提出ください。また、イベント・催し物の申請を認めた場合であっても、下記の感染防止対策が担保できない場合は、当日も含めて開催を取り消すこと等があることにご注意ください。

なお、新型コロナウイルスは未知の感染症であり、チェックリストに掲げられた対策を講じれば万全ということではないことにご注意いただくとともに、新たな知見が得られたり、今後の感染状況の推移などによって効果的な対策や取り扱いに変更があり得ることをご留意ください。

チェックリスト(利用日: 月 日 利用内容: 主催者名:)

確認項目	チェック欄
1 消毒の徹底(感染リスクの拡散防止)	
参加者に対し、こまめな消毒や手洗いなど、「北海道スタイル」に基づく行動を徹底するよう促すとともに、主催者側も「北海道スタイル」の実践を徹底すること。	<input type="checkbox"/>
2 マスク着用の担保(感染リスクの拡散防止)	
マスクを持参していない者がいた場合は、主催者側でマスクを配布するなどし、着用率100%を担保すること。	<input type="checkbox"/>
3 参加者及び出演者等の制限(感染リスクの拡散防止)	
検温の実施、有症状の出演者は出演・練習を控えること、主催者が払い戻しの措置等を規定しておくこと等、有症状者の出演・入場等を確実に防止する措置を徹底すること。	<input type="checkbox"/>
4 参加者の把握(感染リスクの拡散防止)	
事前予約時または入場時に連絡先を確実に把握することや、参加者に北海道コロナ通知システムや接触確認アプリ(COCONA)のダウンロードを促すとともに、アプリのQRコードを入口に掲示する等、具体的措置を講じること。	<input type="checkbox"/>
5 大声を出さないことの担保(大声の抑止)	
大声を出すものやラッパ等の鳴り物を鳴らすものがいた場合、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備(人員を配置する等)すること。	<input type="checkbox"/>
6 密集の回避(イベント・催し物の入退場や休憩時間等における三密の防止)	
入退場列や休憩時間の密集を回避する措置(人員の配置、導線の確保等)や十分な換気を行うこと。休憩時間中及びイベント・催し物前後の食事等での感染防止や入場口・トイレ・売店等の密集が起こらない環境とすること。	<input type="checkbox"/>
7 出演者・観客間の接触・飛沫感染リスクの排除	
出演者や観客等がイベント・催し物前後や休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベント・催し物については開催を見合わせること。	<input type="checkbox"/>
8 イベント・催し物前後の行動管理 (交通機関・イベント後の打ち上げ等における三密の抑止)	
公共交通機関・飲食店・駐車場等での密集を回避するために、交通機関・飲食店・駐車場の分散利用を注意喚起し、可能な限り分散利用を促進すること。	<input type="checkbox"/>
9 業種別ガイドラインの遵守	
主催者において、主催事業が該当する業種別ガイドラインを遵守すること。	<input type="checkbox"/>
10 イベント・催し物主催者による感染防止の取組の公表	
チラシやホームページ、施設内における掲示等により、感染防止の取組を公表すること。	<input type="checkbox"/>